

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 産業観光課
-----------	-------------

コード	IV-10-16	施策名	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化
まちづくりの 目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産 業・観光)	施策の方針	社会経済を潤す
5年後の めざす姿	武家屋敷や町家、寺院などが立ち並ぶ、商業と観光の中心である中心市街地の活性化が図られており、商店街、まちづくり会社、行政等が連携した取り組みを進め、まちなか賑わいの創出及び商業経営基盤の強化をめざします。		
施策の課題	商店街地域では、店主の高齢化や後継者不足、郊外型大型店舗の増加等により、中心市街地の空洞化が大きな課題となっています。また、住宅と店舗を兼ねた建物が多く、なかには築100年を超える建物もあり、老朽化により廃業後、建物を取り壊し、店舗跡地が駐車場となるなど、以前の商店が密集し活気がある商店街から様相の変化が見受けられます。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	中心市街地の空き店舗の活用数(臼 杵地域)【累計】	臼杵地域中心市街地の空き店舗 を活用した数	目標	店舗	25	28	33	33	40	
			実績	店舗	22	25	28	31	37	
			達成率	%	100.0%	100.0%	93.9%	112.1%		
			達成率	%	100.0%	83.3%	71.4%	71.4%		
	中心市街地の空き店舗の活用数(野 津地域)【累計】	野津地域中心市街地の空き店舗 を活用した数	目標	店舗	5	6	7	7	8	
			実績	店舗	5	5	5	5		
			達成率	%	100.0%	83.3%	71.4%	71.4%		
			達成率	%	100.0%	83.3%	71.4%	71.4%		
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	臼杵地域においては、空き店舗を活用して事業を行う事業者があり、商店街への出店に繋がっています。野津地域においては、空き店舗の出店のニーズが少なく、活用が進んでいません。							
		指標達成に向け 今後の流れ	臼杵地域と野津地域では、目標設定への到達度に違いがあるが、引き続き、空き店舗の情報収集並びに情報発信に取り組んでいきます。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
検討領域	2.50	1.77	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	
		82.59%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度 検討領域	令和4年度 検討領域	令和5年度 検討領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	白杵市空き店舗等総合支援事業補助金	白杵市中心市街地及び野津町商店街地域等の空き店舗の活用を促進し、商業振興と地域活性化を図る補助事業です。	産業観光課	1,810	3,883	有	順調	向上	大	○
2	サーラ・デ・うすき管理・運営事業	サーラ・デ・うすきの管理・運営を(株)まちづくり白杵に委託し、まちなかのにぎわい創出につなげる事業です。	産業観光課	12,018	12,376	有	やや遅延	見直し	中	
3	商店街活性化事業補助金	中心市街地の賑わい創出を図る為、商店街が行うイベント等を補助する事業です。	産業観光課	1,200	1,200	無	—	—	—	
4	中心市街地活性化事業補助金	(株)まちづくり白杵が行う、「うすき街色絵画事業」や「市民演劇人材育成プロジェクト」等の芸術・文化振興事業を補助する事業です。	産業観光課	6,211	6,211	無	—	—	—	
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				21,239	23,670	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

商店街地域では、今後も空き店舗の増加が予想されます。空き店舗の活用については、商店街関係者と連携を図り、現状の課題についての情報共有を行い、これまで商店街にはなかった、業種・業態の事業者の誘致や空き店舗を活用したイベント開催など、商店街の賑わいの創出や魅力アップを図り、交流人口の増加に繋がる取り組みが必要です。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	個店経営者の高齢化等により、廃業が今後多くなることが想定されます。商店街関係者と連携を図り、商店街の賑わいの創出や魅力アップを図るとともに、廃業しなくても事業承継につなげるなど、空き店舗になる前の対策が必要です。